

## (抄録)

研究課題名：地域スポーツクラブの成長・衰退メカニズムの解明

研究者氏名：柴田紘希

### 緒言

地域におけるスポーツクラブは、人々の身近なスポーツの機会を保障するとともに、スポーツを通じた地域活性化に果たす役割が期待されている。このような背景のもと、地域スポーツクラブの育成は、政策的・学術的な重要課題とされてきた。しかし、現在育成が進められている総合型地域スポーツクラブ（以下、「総合型クラブ」とする）では、創設後に「廃止・統合」「活動休止」となったクラブは増加の一途とたどり、持続的に活動することができていない。ゆえに、クラブの持続的経営に関わる学術研究の蓄積と科学的エビデンスに基づく実践的な経営方策の開発は重要な課題として位置づけられる。そこで本研究は、クラブの成長・衰退メカニズムを明らかにすることを通じ、クラブの成長・衰退に関する要因を検討することを目的とした。

### 方法

先行研究において総合型クラブの成長・衰退には、設立過程におけるミッションの形成過程が影響を及ぼすことが明らかにされている。そこで本研究では、設立後のクラブの成長・衰退状況が異なる2つのクラブを事例として両クラブのミッションの形成過程を比較することにより、総合型クラブの成長・衰退を分ける要因について検討を行った。調査は、事例クラブの代表者やスタッフに対し半構造化インタビューを実施した。調査は、各対象者に対し1回につき約1時間のインタビューを行い、クラブの創設から衰退に至るまでの時系列的過程について聞き取りを行った。分析は対象者に了解を得た上でICレコーダーにより会話を録音、逐語録を作成し、質的データ分析ソフト「MAXQDA 22」を使用しコーディングを行い、事例に共通してみられる要因や背景を検討した。

### 結果・考察

ミッションの形成過程が設立後の総合型クラブの成長・衰退に影響を及ぼすメカニズムは次の通りであった。設立の母体となる主導組織においてクラブ設立の意義や必要性がほとんど議論されていないために、設立されるクラブの意義や目的が共有されず、組織外からの協力を得ることができなくなること、また、運営者・スタッフのクラブ運営に対するコミットメントが低下すること、以上2点が生じ、最終的にクラブの衰退に至る過程が明らかにされた。また、ミッションの確立には、①教育委員会と体育指導委員を中心とした検討による問題、②リーダーのクラブ観、③地域課題の導出を可能としたメンバーの選定、④クラブアドバイザーによる支援という要因が関連し、これらの相互作用によりミッション形成プロセスの差異が生じ、最終的なクラブの成長・衰退に影響を及ぼしていること示唆された。

### 結論

本研究では、クラブの成長・衰退に関わる時系列的過程やその過程に影響を及ぼす要因をミッションの形成過程に着目して明らかにした。本研究から示唆される重要な点は、クラブ設立過程、特にミッションの形成過程という、最初期のプロセスがその後のクラブ経営の在り方に経路依存的に影響を及ぼすという点である。また、そのプロセスの差異を生じさせる要因を明らかにした点も本研究の貢献であると考えられる。だが、クラブの設立過程のみならず設立後の経営の在り方によってクラブの成長・衰退が左右される場合も想定される。このため、今後の研究においては長期にわたって活動を行うクラブが成長・衰退していく事例等、異なるクラブの成長・衰退のメカニズムを明らかにするとともに、質的研究から得られた仮説を定量的研究により検証していくことが求められる。